

**社会福祉法人**

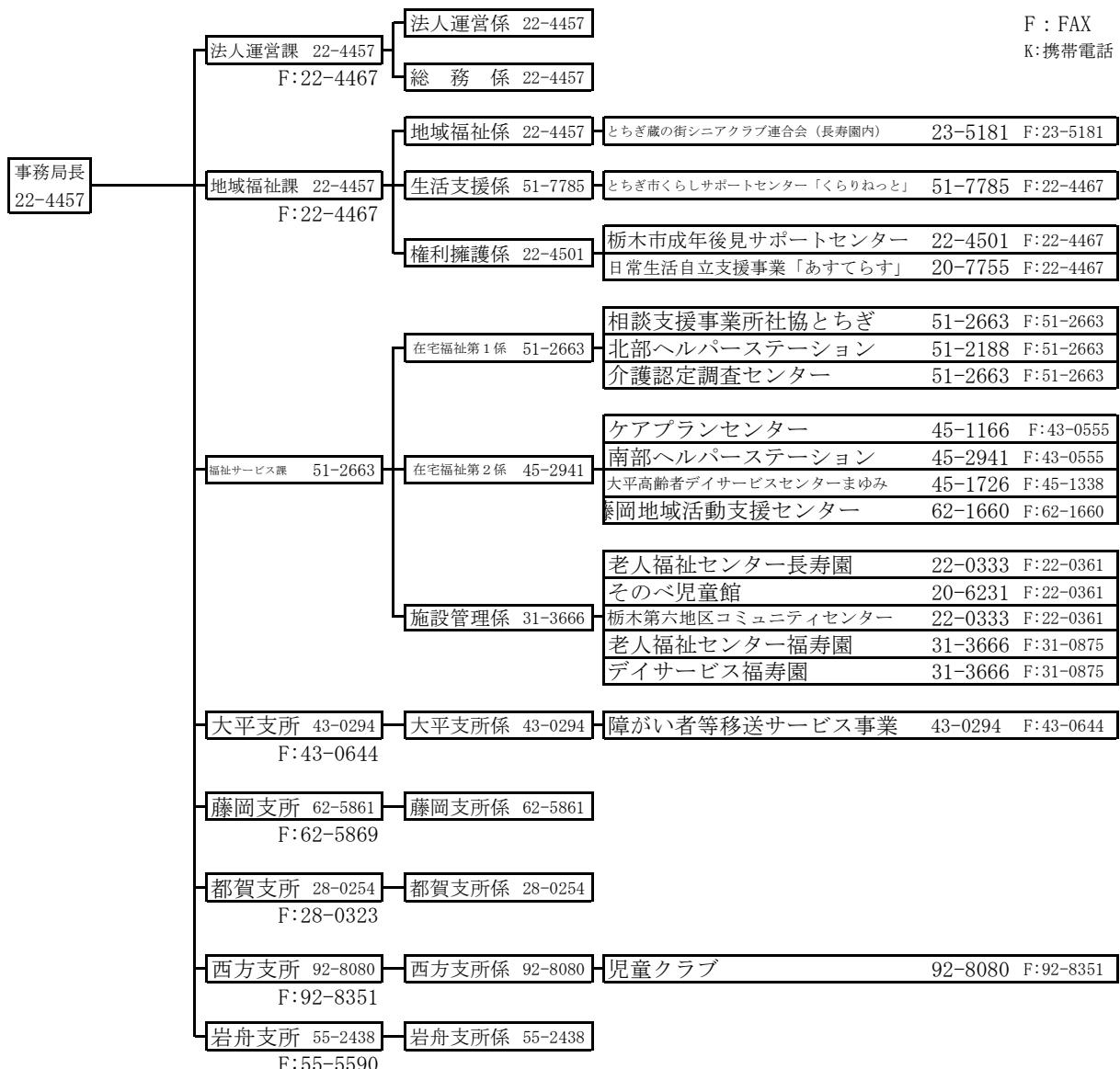
**栃木市社会福祉協議会**

# I 組 織

- 1 事務所の所在地  
　　栃木市今泉町2丁目1番40号（本所）  
　　（大平支所：栃木市大平町真弓1396番地）  
　　（都賀支所：栃木市都賀町原宿573番地）  
　　（岩舟支所：栃木市岩舟町三谷1038番地1）  
　　（藤岡支所：栃木市藤岡町藤岡810番地）  
　　（西方支所：栃木市西方町元347番地1）

2 名称及び代表者  
　　社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会 会長 赤羽根正夫

3 役員及び職員等（令和7年4月1日現在）  
　　理事：13名（うち、会長1名・副会長3名・常務理事1名）、監事：2名、評議員：26名  
　　職員：166名（内、登録ヘルパー35名）



# 事業の概要

本会は地域福祉を推進する団体として、地域住民、関係団体等と連携・協働しながら、各種事務事業を実施するとともに、令和6年度は「重層的支援体制整備事業（参加支援事業）の着実な実行と包括的相談支援体制の維持」「権利擁護を中心とした新たな財源確保に向けた新規事業の確立」「経営安定化計画など財政健全化に向けた各取組の検証と実行並びに第2期経営安定化計画の策定」「第2期地域福祉活動計画の推進と次期計画の策定」を重点目標として掲げ、「重層的支援体制整備事業（参加支援事業）の着実な実行と包括的相談支援体制の維持」に関しては、「ちよこっとジョブ・ちよこっとボランティア応援事業」を本格的に開始し、支援が必要な方の社会参加の場の充実・強化のため、協力事業所の募集案内の作成や栃木市事業所交流・学習会での事業説明等の取組みを行った。「権利擁護を中心とした新たな財源確保に向けた新規事業の確立」に関しては、新規事業の確立には至らなかつたが、財務強化ワーキンググループにおいて、親族を頼れない等の将来に不安を抱える一人暮らし高齢者や高齢者世帯の方が、少しでも安心した生活を送ることができるよう、定期的な見守りや入退院時支援、死後事務等のサポートを行う「（仮称）栃木市未来ホッとあんしんサポート事業」を検討し、事業実施が実現できるよう、行政に財政支援の要望を行つた。「経営安定化計画など財政健全化に向けた各取組の検証と実行並びに第2期経営安定化計画の策定」に関しては、効率的・効果的な組織運営を行うための組織機構の見直しと財政健全化のための事業所廃止を行い、第2期経営安定化計画の策定については、実行可能な計画策定につなげるため、第1期計画の検証と課題の洗い出しを重点的に行うこととし、令和6年度中の策定は見送ることとした。「第2期地域福祉活動計画の推進と次期計画の策定」に関しては、地域福祉活動計画の内容を踏まえた事業実施に努め、行政と連携し、令和7年度から令和11年度を計画期間とする第3期栃木市地域福祉計画・栃木市地域福祉活動計画を策定した。

## 1 住民による見守り支え合い活動への支援

### （1）重層的支援体制整備事業・生活支援体制整備事業の実施 ※受託

地域共生社会の実現と支え合いの地域づくりを進めるため、コミュニティ・ソーシャルワーカーと生活支援コーディネーターを配置し、参加支援事業の実施や地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みる環境の整備（地区懇談会の開催、協議体活動への支援）、担い手の育成などの取り組みを行つた。

#### ア 参加支援事業（ちよこっとジョブ・ちよこっとボランティア）の実施

（地域福祉課）

プラン作成数 27人（新規プラン作成 11人）

実施回数 106回

延べ参加人数 172人

内 容 こども服の販売と仕分け作業、書類仕分け作業、季節の折り紙入りコーヒーセット作成、チケッ

ト・パンフレット作成、オリジナル雑巾・デコパ  
ージュ石鹼の作成、販売

#### イ 地区懇談会の開催（地域福祉課、各支所）

地域におけるニーズの把握、生活福祉課題の明確化を進めるとともに、地域住民同士の情報共有を促進することを目的に、各地区社協等に働きかけ、地区懇談会を開催した。

【開催実績】（計28回、延べ参加人数860人）

開 催 日	地区社協等	テマ	参加人数
令和6年 6月 6日（木）	大平地域	チームオレンジスタンダバイユ活動報告 社会福祉協議会大平支所相談事例発表 上牛久いきいきショッピング他	80人
7月 9日（火）	大宮地区	「つながりが生まれる地域に」～お互いに気にかけ合い支え合える地域～（講話・グループワーク）	38人
7月 11日（木）	大平地域南地区	高齢者の移動の問題について考える。 運転免許証返納に関する意識や課題の背景の理解について 地域で支える方法を検討（グループワーク）	18人
7月 17日（水）	大宮地区	「つながりが生まれる地域に」～お互いに気にかけ合い支え合える地域～（講話・グループワーク）	19人
7月 18日（木）	都賀地区	改めて地域でのつながりの大切さを考える。（グループワーク）	19人
7月 22日（月）	国府地区	「つながりが生まれる地域に」～お互いに気にかけ合い支え合える地域～（講話・グループワーク）	22人
8月 6日（火）	第四地区	第四地区の良さを再認識すると共に被災地でのエピソードから地域力の大切さを考える。（講話・グループワーク）	30人
8月 6日（火）	第一地区	第一地区の良さを再認識すると共に被災地でのエピソードから地域力の大切さを考える。（講話・グループワーク）	35人
8月 29日（木）	大平地域東地区	高齢者の移動の問題について考える。 運転免許証返納に関する意識や課題の背景の理解について 地域で支える方法を検討（グループワーク）	15人
8月 30日（金）	藤岡地域	所属する団体自慢!!「私たちは、こんな事をしています。」（情報交換） 高齢者の集まる場所が不足している地	23人

		域にアプローチする方法とは？（グループワーク）	
9月 4日（水）	第七地区	第七地区の良さを再認識すると共に被災地でのエピソードから地域力の大切さを考える。（講話・グループワーク）	26人
9月 6日（金）	第5地区	地域での孤立に気づき、つながり、つなげ、見守る、つながりワーカー養成研修を通して、5地区について考える。（講話・個人ワーク）	35人
9月 7日（土）	第二地区	第二地区の良さを再認識すると共に被災地でのエピソードから地域力の大切さを考える。（講話・グループワーク）	15人
9月 12日（木）	大平地域西地区	高齢者の移動の問題について考える 運転免許証返納に関する意識や課題の背景の理解について 地域で支える方法を検討（グループワーク）	16人
9月 13日（金）	国府地区・大宮地区介護・障がい福祉サービス事業所	「いちごハートねっと事業」について～社会福祉法人による地域における公益的な取り組みとは～（研修・情報交換）	24人
9月 25日（水）	第三地区	第三地区の良さを再認識すると共に被災地でのエピソードから地域力の大切さを考える。（講話・グループワーク）	19人
10月 9日（水）	皆川地区	皆川のいいところから考える地域づくり (講話・グループワーク)	28人
10月 9日（水）	寺尾地区	寺尾のいいところから考える地域づくり (講話・グループワーク)	41人
11月 13日（水）	第六地区	第六地区の良さを再認識すると共に被災地でのエピソードから地域力の大切さを考える。（講話・グループワーク）	36人
12月 4日（水）	大宮地区	支え合いの地域づくり研修会（講話・グループワーク）	67人
12月 16日（月）	第5地区	第5地区の集まりや支え合いの場があるのか、それらが地域においてどのような役割に繋がっているのか考える。（グループワーク）	34人
12月 16日（月）	吹上地区	吹上地域のいいところから考える地域づくり（講話・グループワーク）	27人

12月18日(水)	藤岡地域	『認知症について』～介護職員が話す介護事例を通して～ 安心して地域で暮らせるためには、自分たちでどんなことが出来るのか。(グループワーク)	51人
令和7年 1月23日(木)	都賀地区	高齢者が安心して暮らしていける地域にするために(グループワーク)	23人
1月30日(木)	藤岡地域	『通いの場がない地域や通いの場に新たな参加者が少ない。どうしたら良いのか』(グループワーク)	42人
3月3日(月)	第5地区	「つながりを切らない地域づくりの視点」(講話)	20人
3月4日(火)	皆川地区	暮らしの中の小さなつながり大発見～皆川地区でみつけたつながり、支えあい～(講話・グループワーク)	27人
3月7日(金)	西方地区	誰もが安心して暮らしていける地域にするために(高齢者の現状説明・事例発表・グループワーク)	30人

#### ウ 協議体活動への支援(地域福祉課、大平支所、岩舟支所)

「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりの強化を図ることを目的に、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる協議体活動を支援した。

#### 【各協議体の活動状況】

地域	活動の状況
大宮地区	第2層協議体 ・協議体会議(3回、延べ参加人数124人)
国府地区	第2層協議体 ・協議体会議(1回、延べ参加人数29人)
大平地区	第2層協議体 ・協議体会議(2回、参加人数46人) ・男性介護者の集い開催(11回、延べ参加人数48人) ・福祉に関する相談会の開催(11回、延べ参加人数25人) 第3層協議体(大平南地区) ・協議体会議(13回、延べ参加人数128人) 第3層協議体(大平東地区) ・協議体会議(13回、延べ参加人数109人) 第3層協議体(大平西地区) ・協議体会議(5回、延べ参加人数60人)
岩舟地区	第2層協議体 ・協議体活動報告会の開催(1回、参加人数48人) ・岩舟「我が事・丸ごと」ふくしまつりの開催(1回) ・協議体活動リーフレット作成(1回) 第3層協議体(静和) ・協議体会議(12回、延べ参加人数225人)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物支援送迎サービス事業の実施（44回、延べ利用人数121人）</li> <li>・集い・相談の場づくり（わがまるカフェ）実施（6回、延べ参加人数245人）</li> <li>・通学路現場点検の実施（3回）</li> <li>・こども110番の家連携強化</li> <li>・ゴミ出し支援の検討（アンケートの集計・分析、自治会への提案、ゴミステーションの場所の確認作業）</li> </ul> <p>第3層協議体（岩舟）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議体会議（12回、延べ参加人数165人）</li> <li>・買物支援送迎サービス事業の実施（9回、延べ利用人数42人）</li> <li>・あいさつ運動の実施（5月～2月）</li> <li>・見守りボランティア交流会の開催（1回）</li> <li>・こども110番の家登録更新作業</li> <li>・ながら見守り活動の推進</li> <li>・世代間交流事業の実施（じやがいもの苗植え、芽かき、収穫、モルック体験）（年3回）</li> <li>・広報紙「我が事・丸ごと」岩舟通信の発行（1回）</li> </ul> <p>第3層協議体（小野寺南）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議体会議（12回、延べ参加人数142人）</li> <li>・買物支援送迎サービス事業の実施（24回、延べ利用人数65人）</li> <li>・イエロータウン運動（三谷地域）の実施（毎週土曜日）</li> <li>・スポーツ体験会（モルック、グランドゴルフ）の開催（2回、延べ参加人数59人）</li> <li>・わがまるスポーツ交流会の開催（1回、参加人数66人）</li> <li>・わがまる通信の発行（1回）</li> </ul> <p>第3層協議体（小野寺北）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議体会議（12回、延べ参加人数220人）</li> <li>・買物支援送迎サービス事業の実施（7回、延べ利用人数19人）</li> <li>・小学校での認知症対応寸劇の実施（1回）</li> <li>・ふるさと小野寺かるた大会の実施（1回）、地域イベントでのふるさと小野寺かるたの普及・PR活動（3回）</li> <li>・防災啓発の検討</li> </ul> <p>その他（研修会等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4協議体リーダー等会議（1回、参加人数19人）</li> <li>・岩舟会議（1回、参加人数16人）</li> </ul>
--	--

## 工 地区社会福祉協議会への支援強化（地域福祉課、各支所）

地域の状況に応じた福祉活動（交流事業や見守り活動等）を推進している地区社会福祉協議会の運営費及び事業費への補助、事業実施に係る相談への対応、事務支援を行った。

#### **オ 地区社会福祉協議会連絡会の開催（地域福祉課）**

地区社会福祉協議会（17地区）の組織強化や連携を深めることを目的に、地区社会福祉協議会連絡会を開催した。

開催日 令和6年7月31日（水）

場 所 栃木保健福祉センター

内 容 重層的支援体制整備事業 参加支援事業説明

「ちょこっとジョブ、ちょこっとボランティア応援事業」について

各地区社協の活動状況の情報交換

参加人数 15人

#### **カ 地区社会福祉協議会役員研修会の開催（地域福祉課）**

地域の福祉課題の把握や共通認識、地区社会福祉協議会役員の一層の意識向上を図ること、地域でのつながりの重要性を確認し、全世代に向けた地域づくりに関する視点を持つことを目的として、令和7年2月22日（土）「キラッと輝く栃木市のお宝発表会」を研修会とした。

#### **キ 認知症普及啓発イベントの開催（大平支所）**

地域共生社会及び認知症普及啓発イベントとちぎオレンジまち活フェスタを開催した。

開催日 令和6年9月26日（木）

場 所 大平文化会館・大平図書館

内 容 認知症セミナー「認知症になっても困らない社会を目指しましょう！」

市民サポーターの活動報告他

講 師 うずまクリニック理事長兼院長 大森正規 氏

参加人数 300人

#### **ク コミュニティカフェの開催（地域福祉課、大平支所、西方支所）**

年齢や障がいの有無に関わらず、地域のあらゆる住民が自分らしく、それぞれに役割を持ちながら参加できる「地域共生社会」を目指し、地域住民の交流の場・相談の場を目的としたコミュニティカフェを開催した。

##### **(ア) コミュニティカフェ（オレンジカフェ等）**

開催回数 11回（毎月第3金曜日）

場 所 ヤオハン城内店ふれ愛ひろば

内 容 演奏会、認知症紙芝居、介護等の勉強会等

延べ参加人数 401人

##### **(イ) 出張版オレンジカフェ（ヤオハン城内店以外での開催）**

開催回数 12回

場 所 大宮公民館

内 容 介護講話、脳トレ、コンサート等

延べ参加人数 428人

#### (ウ) オレンジカフェ DE TOCHICOリサイクル

『TOCHICO日和』（とちぎに住むママのためのフリーペーパー）と共に開催し、子ども服のリサイクルや障がい者施設のパンの販売等を行った。また、子ども服の売り上げの半分は赤い羽根共同募金の寄附へつながった。

開催回数 15回

場所 CITY GYM&SPA 遊楽々館、ゆったり～な、  
栃木保健福祉センター、都賀支所、西方支所

内容 子ども服リサイクル販売等

延べ参加人数 619人

寄附総額 142,000円

#### (エ) ベリーカフェ

開催回数 9回

場所 西方支所 地域交流スペース

内容 軽体操、リズム歌、シナプソロジー、福祉施設によるパンの販売

延べ参加人数 142人

#### (オ) 鑑賞会で楽しむ×地域づくり “コミュニティカフェ”

楽しい時間の中での交流の場を通じ、人ととのつながり、見守りや支え合いが行われる地域づくりにつなげることを目的に、鑑賞会で楽しむ×地域づくり“コミュニティカフェ”を開催した。

開催日 令和7年3月30日（日）

場所 ふるさとふれあい館

内容 地域のボランティアによる文化芸能鑑賞会、カフェコーナー、ふくし困りごと相談会、地域のお宝パネル展示

参加人数 220人（ボランティア含む）

#### ケ 地域のオレンジカフェ（認知症カフェ）への協力

（地域福祉課、大平支所、藤岡支所、都賀支所、西方支所）

認知症の人だけでなく、誰でも安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し、地域の社会福祉法人等が開催するオレンジカフェへの協力（開催当日の運営協力等）を行った。

課支所名	回数	内容
地域福祉課	14回	開催に向けた準備・打ち合わせ、開催当日の運営協力
大平支所	48回	開催当日の運営協力、協力ボランティアの調整
藤岡支所	12回	開催に向けた準備・打ち合わせ、開催当日の運営協力
都賀支所	12回	開催に向けた準備・打ち合わせ、開催当日の運営協力
西方支所	12回	開催当日の運営協力

## コ シニアの健康・福祉のイベント（大平支所）

地域で協働したイベントの企画、開催を通じ、地域主体の福祉活動の推進と継続した話し合いの場の構築を図ることを目的に、地域の福祉施設、地域住民、ボランティア、地域包括支援センター、本会が協働してシニアの健康・福祉イベントを企画し、大平西公民館で開催した。

開催日	実施内容	参加人数
令和6年 5月30日（木）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ますます元気サポーターによるロコモ予防（軽体操）</li><li>・参加者交流タイム</li><li>・ミニ福祉機器展（車椅子、歩行器、電動カートや三輪自転車の試乗会ほか）</li></ul>	30人
8月8日（木）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ますます元気サポーターによるロコモ予防（軽体操）</li><li>・地域の介護サービスを知ろう（寸劇） 介護保険申請からグループホーム入所まで</li><li>・参加者交流タイム</li><li>・大平地域オレンジカフェ報告</li><li>・むかし遊んだことをいま遊ぼう（紙芝居、ペーパーマ、めんこ）</li></ul>	27人
11月23日（木）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ますます元気サポーターによるロコモ予防（軽体操）</li><li>・地域の介護サービスを知ろう（寸劇） 介護保険申請から施設入所まで</li><li>・参加者交流タイム</li><li>・ミニ講座将来に備えて（エンディングノート）</li></ul>	29人
令和7年 2月27日（木）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ますます元気サポーターによるロコモ予防（軽体操）</li><li>・地域の介護サービスを知ろう（寸劇） 介護保険申請からデイサービス利用まで</li><li>・参加者交流タイム</li><li>・ミニ講座デイサービスウェブ見学会</li></ul>	35人

※参加人数は、協力ボランティアも含む人数

## サ 親子ふれあいサロンの開催（地域福祉課）

自宅では体験できない遊びや他の参加者・スタッフとの交流により、子育ての不安や悩みを話し合い、子育てを楽しみながらの仲間づくりを目的に、親子ふれあいサロンを開催した。

開催回数 11回

参加人数 398人（親239人、子159人）

### シ 会食会（サロン）の開催（藤岡支所）

地域の一人暮らし高齢者を対象に、ボランティアの協力を得て、レクリエーションや傾聴、会食等を行う会食会（サロン）を開催した。

開催回数 11回

延べ参加人数 185人

延べ協力人数 227人（送迎・運営・給食・傾聴ボランティア、講師等）

### ス ふれあい交流会（サロン）の開催協力（大平支所）

地域の一人暮らし高齢者等を対象にレクリエーションや教養講話をを行う大平隣保館のふれあい交流会に職員派遣の開催協力を行った。

開催回数 12回

延べ参加人数 209人

### セ 「人とのつながりからはじまる地域づくり」の開催（大平支所）

各種趣味活動など、興味関心が同じもの同士で「人と人」「人とグループ（居場所）」をつなぎ合わせることにより、多くの人とつながり、見守りや支え合いの関係性が構築できる地域を目指して開催した。

開 催 日	一部	二部(共通)	参加人数
令和7年 2月13日（木）	はじめてヨガ	・人とのつながりがあることは、健康寿命に大きく影響することや、困った時に、助け合いできる関係性を構築することの大切さの説明	16人
2月18日（火）	はじめて太極拳	・人とのつながりチェックシート	20人
2月26日（水）	はじめてボール体操	・会員募集サークルの紹介等	13人
3月 5日（水）	正しい歩き方講座		38人

### ソ 地域福祉サポーター養成講座（入門編）の開催（地域福祉課）

年齢や障がいの有無に関わらず、すべての地域住民が自分らしく、それぞれに役割を持ちながら、社会参加できる「地域共生社会」を目指し、地域福祉の担い手の育成を目的に、地域福祉サポーター養成講座（全3回講座）を開催した。

開催日 令和6年 9月25日（水）

10月 8日（火）

10月 29日（火）

場 所 きららの杜 とちぎ蔵の街楽習館

内 容 地域のつながり支え合いについて

講 師 全国コミュニティライフサポートセンター

理事長 池田昌弘 氏

参加人数 35人

#### タ キラッと輝く栃木市のお宝発表会の開催（地域福祉課）

地域の中で孤立せず安心して生活していくために大切なだと言われている「つながりのある地域づくり」について事例をとおして支えあいの促進を図った。

開催日 令和7年2月22日（土）

場 所 とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）

内 容

##### 【第1部】講話・お宝発表会

講話「住民主体の地域づくりと支えあい」

全国コミュニティライフサポートセンター

理事長 池田昌弘 氏

栃木市のキラッと輝くお宝発表（6事例紹介）

栃木市立小野寺小学校お宝発見隊の地域のお宝調査報告

##### 【第2部】講演会

「つながりを生かした多世代に向けた地域づくり」

厚生労働省社会援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室

室長 吉田昌司 氏

##### 【第3部】シンポジウム

「キラッと輝く栃木市のお宝について」

参加人数 350人

#### チ チームオレンジへの支援（大平支所、藤岡支所、西方支所）

認知症の方が安心して暮らし続けられる地域づくりを目指して活動しているチームオレンジの活動支援を行った。

大平支所 支援回数 50回

藤岡支所 支援回数 5回

西方支所 支援回数 14回

#### ツ 地域サロン支援事業の実施（大平支所、都賀支所）

市民が中心となって開催する地域サロンの支援を目的に、レクリエーション機材の貸し出しや協力ボランティアの調整を行った。

### （2）地域福祉への理解と関心を高める広報啓発活動

#### ア 広報紙の発行やホームページ・フェイスブックの運用（地域福祉課）

ふくぴーだよりの発行（年6回）やホームページ、フェイスブックを通し、本会の事務事業を始めとした福祉に関する情報を広く市民に提供した。

#### イ 報道機関等への情報提供（本所、各支所）

各種事業の開催情報を報道機関等に提供し、PR強化を図った。

情報提供回数 21件

#### ウ マスコットキャラクターの貸出（地域福祉課）

本会の認知度を上げることを目的に、マスコットキャラクター「ふっくん・ぴーちゃん」を活用してイベントへの貸し出しを行った。

貸出件数 1 件

貸出先 サマーフェスタ I N iわふね 2 0 2 4

#### エ 福祉功労者等表彰式の開催（法人運営課）

永年福祉活動に携わっている方等、福祉の向上に功績のあった方へ表彰状や感謝状の贈呈を行い、福祉意識の更なる高揚と啓発に努めた。

開催日 令和 7 年 3 月 1 4 日（金）

場 所 栃木保健福祉センター

受賞者 個人 5 2 人

（社会福祉施設団体等 3 7 人、ボランティア 1 5 人）

団体 2 5 団体

（優良団体 1 3 団体、大口寄附 6 团体、永年寄附 6 団体）

#### オ 各種イベントの開催、協力

福祉やボランティア活動に関する啓発活動、市民の交流を図ることを目的に、ふれあい館作品展示交流会の開催や福祉まつりの開催支援を行った。

##### （ア）ふれあい館作品展示交流会（大平支所）

開催日 令和 6 年 5 月 2 5 日（土）、2 6 日（日）

場 所 ふるさとふれあい館

内 容 ボランティア団体の活動紹介及びふれあい館利用団体作品展示、地域のお宝パネル展示、健康測定会・T O C H I C O リサイクル他

##### （イ）藤岡ふくしまつり（藤岡支所）

開催日 令和 6 年 1 0 月 2 0 日（日）

場 所 藤岡文化会館・藤岡公民館

内 容 福祉団体・ボランティア団体による各種コーナー、ふくしふザー等

##### （ウ）岩舟「我が事・丸ごと」ふくしまつり（岩舟支所）

開催日 令和 6 年 1 1 月 3 日（日）

場 所 C I T Y G Y M & S P A 遊楽々館ユニバーサル広場

内 容 各協議体・地域の各種団体によるブース出展

（我が事・丸ごと事業 P R 、バザー、介護体験等の各種体験、飲食ブース等）、ステージイベント（園児のダンス、小野寺大判かるた大会等）等

### (3) 市民同士の活動の促進

#### ア ふれあい在宅福祉サービス事業の実施（地域福祉課、各支所）

住民同士の助けあい活動を高齢者や障がい者等への在宅福祉サービスに結び付けた住民参加型の在宅福祉サービス事業を実施した。

協力会員数	47人	利用会員数	64人
派遣回数	1, 125回		
(内訳)	家事援助 身の回りの軽度の世話 外出の付き添い 留守番・話し相手 買い物	711回 89回 44回 15回 266回	

#### イ 福祉団体等の運営支援

##### (ア) とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会事務局（地域福祉課）※受託

シニアクラブ支部同士の円滑な運営と事業の推進を図るため、職員がとちぎ蔵の街シニアクラブ連合会の事務局業務に従事した。

##### (イ) 福祉団体等の事務局及び活動支援（地域福祉課、各支所）

福祉団体の運営を支援するため、下記の福祉団体の事務局を担い、事務支援などを行った。

課支所名	団体名
地域福祉課	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会及び同栃木支部
大平支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会大平支部、栃木市身体障害者福祉会連合会大平支部、大平地区社会福祉協議会
藤岡支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会藤岡支部、栃木市身体障害者福祉会連合会藤岡支部、栃木市藤岡地域活動支援センター親の会、藤岡町給食ボランティアの会、藤岡地区社会福祉協議会、藤岡町傾聴ボランティア「ひだまり」
都賀支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会都賀支部、栃木市身体障害者福祉会連合会都賀支部、都賀町心身障害児者父母の会、傾聴ボランティア「かたつむりの会」、栃木市都賀手話サークル「スマイル」、都賀地区社会福祉協議会、いちごの郷・なかよし保護者会、読み聞かせボランティア「なかよし」、まちづくりネットワーク「つが」
西方支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会西方支部、西方町介護者の会、西方町ボランティア連絡協議会、一人暮らし高齢者の会、西方地区社会福祉協議会、西方地区社会福祉協議会真名子支部
岩舟支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会岩舟支部、栃木市身体障害者福祉会連合会岩舟支部、岩舟地区社会福祉協議会、岩舟町傾聴ボランティア「ぴーちゃん」

#### **ウ 世代間交流事業の推進（地域福祉課）**

児童と高齢者の世代間交流を推進するため、世代間交流事業を実施するシニアクラブを募り、事業実施の補助を行った。（18団体）

#### **エ ふれあい交流事業の実施（地域福祉課）**

障がいのある方もない方も一緒に交流することで、地域に住む人々が互いの理解を深め、助け合いの気持ちを育むことを目的に、交流事業を実施した。

実施日 令和7年3月8日（土）

場 所 栃木市勤労者体育センター

内 容 ミニ運動会

参加人数 76人

#### **オ 地区社協等のいきがいサロン、子育てサロンへの補助**

##### **(ア) いきがいサロン事業の推進（地域福祉課）**

一人暮らし高齢者等の引きこもり防止や生きがいづくりを目的に、いきがいサロン事業を実施する地区社会福祉協議会への補助を行った。（6団体）

##### **(イ) 子育てサロン事業の推進（地域福祉課）**

子育て家庭の親子の交流や育児に関する情報交換、仲間づくりを行う場の提供など、育児に対する不安の解消を目的に、子育てサロン事業を実施する地区社会福祉協議会への補助を行った。（1団体）

#### **カ ふれあい弁当事業（配食サービス）の実施（大平支所）**

地域の見守りが必要な高齢者世帯を対象に、民生委員児童委員・ボランティアの協力を得て、弁当の調理と宅配を実施した。

実施回数 12回

実利用人数 46人

延べ配食数 514食

#### **キ 点字本宅配サービス事業の実施（地域福祉課）**

視力障がい者の情報収集に資するため、点字ボランティアの協力を得て、点字本の宅配サービスを実施した。

実施回数 12回

貸出冊数 36冊

#### **ク マイクロバスの貸出（地域福祉課）**

福祉団体等の活動を支援することを目的に、本会が所有するマイクロバスの貸し出しを行った。（貸出回数 36回）

#### (4) 福祉サービスの提供

##### ア 児童関係

###### (ア) 放課後児童健全育成事業の実施（西方支所）※受託

放課後児童の健全育成と保護者の就労支援を目的に、西方児童クラブ・第2西方児童クラブ・真名子児童クラブを運営した。

	西方 児童クラブ	第2西方 児童クラブ	真名子 児童クラブ	計
開設日	月～土（祝日、年末年始除く）			一
開設日数	254日	251日	253日	一
実利用人数	39人	57人	20人	116人
延べ利用人数	5,288人	7,103人	3,780人	16,171人

###### (イ) 障がい児子育てサロンの開催（福祉サービス課）

障がい児を持つ家庭が抱える子育ての相談や指導を行うとともに、保護者同士の情報交換や親子の仲間づくりの場を提供することを目的に、キッズホームで障がい児子育てサロンを開催した。

開催回数 6回

実参加人数 39人（大人19人、子ども20人）

延べ参加人数 133人（大人58人、子ども75人）

講師 ふじおかおはなし会「コロポックル」他

###### (ウ) 心理相談の実施（福祉サービス課）

子どもの発達に関する保護者の不安や悩みなどに対し、専門家の相談・助言の機会として、臨床心理士による心理相談を実施した。

実施回数 3回

実参加人数 6人（親子5組）

相談員 臨床心理士 小竹利夫 氏

##### イ 高齢者関係

###### (ア) 車椅子貸出事業の実施（地域福祉課、各支所）

車椅子を必要とする方の屋内外移動の負担軽減を図ることを目的に、車椅子の貸し出しを行った。

	地域福祉課	大平支所	藤岡支所	都賀支所	西方支所	岩舟支所	計
貸出回数	89	108	52	17	17	29	312

(イ) 車椅子移送車貸出事業の実施（地域福祉課、各支所）

車椅子を利用する高齢者や身体障がい児者の外出時（通院、通所、外出等）の負担軽減を図ることを目的に、車椅子のまま乗降できる車両の貸し出し（燃料費のみ実費負担）を行った。

課支所名	貸出回数	貸出日数	実利用人数
地域福祉課	109回	198日	33人
大平支所	126回	186日	42人
藤岡支所	85回	116日	28人
都賀支所	106回	154日	33人
計	426回	—	136人

(ウ) 地域包括支援センター運営協力業務の実施（法人運営課）※受託

職員4人（社会福祉士2人、介護支援専門員2人）が、栃木市内の地域包括支援センターの業務に従事した。

ウ 障がい者関係

(ア) 障がい者等移送サービス事業の実施（大平支所）

公共交通機関の利用が困難な方を対象に、車いすやストレッチャーの使用等による市外の医療機関への通院、入院等の移送サービスを実施した

運行日数 187日

実利用人数 63人

利用回数 559回

(イ) 栃木市障がい児者相談支援センター事業の実施（法人運営課）※受託

障がい者相談支援専門員として職員2人が、栃木市障がい児者相談支援センターの業務に従事した。

(ウ) 障がい者等移動支援事業の実施（福祉サービス課、大平支所）※受託

屋外での移動が困難な障がい者等を対象に、自立生活及び社会参加促進のため、ホームヘルパーによる外出支援を実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合 計
実利用人数	1人	0人	1人
派遣回数	46回	0回	46回
派遣時間	46時間	0時間	46時間

## エ その他

### (ア) 法律相談の実施（弁護士）（大平支所）

市民からの法律的な問題に対して、専門家である弁護士が助言等を行った。

実施日 毎月第1、第3火曜日（午前9時から正午）

場 所 ふるさとふれあい館

相談件数 127件

#### 【相談内訳】

相談事項	件数	相談事項	件数	相談事項	件数
不動産（土地等）	19件	金銭トラブル	31件	家族	6件
相続	30件	離婚	20件	近隣トラブル	5件
事故	5件	職業・生業	4件	その他	7件

### (イ) 産前産後ヘルパー派遣事業の実施（福祉サービス課）※受託

日中、家事及び育児を行う者が他にいない妊婦等に対して、ホームヘルパーを派遣して、家事や育児の支援を実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合 計
実利用人数	8人	1人	9人
派遣回数	49回	37回	86回
派遣時間	54時間	37時間	91時間

## （5）栃木市地域福祉活動計画の策定（地域福祉課）

栃木市における地域福祉活動の円滑な推進を図るため、行政と協働し、住みよい地域づくりの実現を目指す地域福祉の理念と体制づくりの指針、行政や本会、関係機関、市民の行動計画となる第3期栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和7年度～令和11年度）を策定した。

## 2 ボランティア活動への参加促進と支援

### （1）ボランティアセンターの運営

#### ア ボランティアの相談・登録（地域福祉課、各支所）

より多くの市民が気軽にボランティア活動へ参加できるようにするため、ボランティアの発掘、育成等の基盤づくり、ボランティアに関する登録・相談等を行った。

登録数 個人 141人 団体 193団体

#### イ ボランティア保険への加入促進（地域福祉課、各支所）

ボランティア活動中のケガや賠償責任を補償するボランティア活動保険、及びボランティアグループや福祉団体の行事中の事故を補償するボランティア行事用保険を受け付けた。

ボランティア活動保険加入数

団体 100団体 (2, 344人) 個人 41人

ボランティア行事用保険加入数 223件

#### (2) 人材育成

##### ア 手話講座の開催

###### （ア）手話奉仕員養成講座の開催（地域福祉課）

聴覚に障がいのある方へ情報を手話で伝えるボランティアの養成と障がい者への理解を深めることを目的に、手話奉仕員養成講座を開催した。

開催期間 令和6年4月24日～令和7年3月12日

毎週水曜日（全45回）

場所 栃木保健福祉センター

受講人数 21人

###### （イ）手話のミニ講座の開催（地域福祉課）

手話に興味を持ち、手話奉仕員養成講座等への参加促進のために、手話のミニ講座を開催した。

開催回数 10回

場所 栃木保健福祉センター、大平公民館

受講人数 50人

##### イ ふれあい在宅福祉サービス協力会員研修会の開催（地域福祉課）

ふれあい在宅福祉サービスにおける協力会員活動の向上と、住民参加型在宅福祉サービスについての理解や関心を高め、協力会員の増加につなげることを目的に、協力会員と市民を対象とした研修会を開催した。

開催日 令和7年3月19日（水）

場所 きららの杜 とちぎ蔵の街楽習館

内容 認知症サポーター養成講座

講師 スタジオリズム箱森 古田土広樹 氏

参加人数 21人

##### ウ 運転ボランティア養成研修会の開催（岩舟支所）

運転ボランティアの人材を育成するとともに、安全・安心に移動手段の確保という地域の福祉課題に取り組むことができるよう、運転ボランティアに必要な知識と技術を習得するための研修会を開催した。

開催日 令和7年3月3日（月）

場所 栃木自動車教習所

内容 住民共助の役割、安全運転の基本、車両の運転等

参加人数 10人

## 工 人権（介護）講演会の開催（地域福祉課）

性の多様性が身近に広がる中、性の多様性に対する理解と認識を深め、市民の人権意識の醸成を図ることを目的に、市人権・男女共同参画課との共催で人権講演会を開催した。

開催日 令和7年2月26日（水）  
場 所 きららの杜 とちぎ蔵の街楽習館  
内 容 性別でみる多様性と人権  
講 師 ダイビーノン代表 あっきー 氏  
参加人数 18人

## オ 栃木市民特別講座「まちぐるみで認知症高齢者を支える」の開催（地域福祉課）

認知症高齢者を支える取り組みの事例や、認知症に関する啓発を目的に、栃木市、栃木市特別養護老人ホーム・養護老人ホーム連絡協議会との共催で、栃木市民特別講座「まちぐるみで認知症高齢者を支える」を開催した。

開催日 令和6年9月16日（月）  
場 所 とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）  
内 容 基調講演  
「認知症の理解と援助」～共生社会の実現のために～  
講 師 川崎幸クリニック院長 杉山孝博 氏  
参加人数 250人

## カ 実習生の受け入れ（地域福祉課、福祉サービス課）

将来、社会福祉等の専門職として活躍する人材育成の一助として、社会福祉士等の実習生を受け入れた。

学校名等	実習期間（実習日数）	受入人数	担当部署等
佐野日本大学短期大学	令和6年8月7日～9月20日（24日）	1人	地域福祉課
マロニエ医療福祉専門学校（社会福祉学科）	令和6年8月7日～9月20日（24日） 令和6年11月25日～12月27日（24日）	1人	地域福祉課
マロニエ医療福祉専門学校（看護学科）	令和6年11月18日、19日（2日） 令和6年11月18日、19日（2日）	1人	老人福祉センター福寿園 老人福祉センター長寿園

#### **キ ふくしまミニ体験講座の開催（地域福祉課、各支所）**

ボランティアを始めたいと思っている方や興味のある方等を対象に、各ミニ講座の体験を通してボランティア活動や福祉に対する関心と理解を高めることを目的として開催した。

講座名	開催日	受講人数	担当部署
はじめての傾聴 「傾聴」ってなあに？	令和7年2月13日（木）	9人	地域福祉課 藤岡支所
読み聞かせ勉強会	令和7年2月21日（金）	10人	大平支所 西方支所
はじめての点字講座	令和7年2月26日（水）	6人	岩舟支所 都賀支所

#### **（3）福祉団体・ボランティア団体等活動支援**

##### **福祉団体・ボランティア団体等への補助**

地域における福祉活動の推進を図るため、市内の福祉団体・ボランティア団体の活動に対する補助を行った。（45団体）

#### **（4）収集ボランティア運動の実施**

##### **ア エコキヤップ回収運動の実施（大平支所、藤岡支所、西方支所、岩舟支所）**

世界の子ども達のためのワクチン購入にエコキヤップを活用している団体への寄贈や、ボランティア団体の活動支援などにエコキヤップを活用するため、回収運動を実施した。

回収量 408, 500個

##### **イ アルミ缶回収運動の実施（西方支所）**

西方支所でアルミ缶を180kg回収し、その収益金を西方町ボランティア連絡協議会が実施する福祉事業に活用した。

##### **ウ 入れ歯回収ボックスの設置（地域福祉課）**

入れ歯に含まれている貴金属のリサイクル収益金を、世界の恵まれない子ども達の支援に活用していただくため、市役所本庁舎、栃木保健福祉センター、本会各支所、各老人福祉センターにNPO法人日本入れ歯リサイクル協会の回収ボックスを設置した。

回収数 10個

## (5) 被災地支援及び災害時支援体制強化

### ア 栃木市災害ボランティア支援委員会の開催（地域福祉課）

災害時に災害ボランティアセンターの設置・運営が迅速かつ効果的に行えるよう、栃木市災害ボランティアの支援委員会を開催し、関係機関・団体と災害ボランティアセンターの設置や人材養成に関して協議・検討を行った。

開催日 令和6年11月11日（月）

場 所 栃木保健福祉センター

協議内容 栃木市災害ボランティアセンター運営サポーター養成研修について

災害ボランティアセンターの設置場所や資機材の保管場所について

参加人数 8人

### イ 災害ボランティアセンター運営サポーター養成研修の開催（地域福祉課）

地域における災害ボランティア活動への理解促進と意識醸成を図り、災害ボランティアセンターの運営を支える人材を養成するとともに、普段からの支え合いやつながりづくりの促進を目指して、運営サポーター養成研修を開催した。

開催日 令和6年12月8日（日）

場 所 栃木保健福祉センター

内 容 災害ボランティアセンターの仕組みと被災者のおかれている状況について（講義）

災害ボランティアセンター運営訓練（実技）

災害時におけるアレルギー対策について（講義）

講 師 N u k i i t o 代表 高山弘毅 氏

とちぎアレルギーの会代表 大森敦子 氏

参加人数 14人

### ウ 防災訓練の協力（地域福祉課）

市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化、並びに職員の災害ボランティアセンターの運営の迅速化を図るために実施された栃木市総合防災訓練に参加協力した。

実施日 令和6年11月30日（土）

場 所 栃木市大平総合運動場

内 容 災害ボランティアセンターの受付訓練

## 工 職員の派遣（地域福祉課）

各関係機関との派遣協定等に基づき、職員を被災地に派遣した。

関係機関名	派遣期間	内容	派遣人数	派遣場所
災害ボランティア活動支援プロジェクト会議	5月23日（木）～27日（月）	災害ボランティアセンターの運営支援	1人	石川県七尾市
	7月18日（木）～22日（月）		1人	石川県珠洲市
社会福祉協議会ブロック派遣	4月8日（月）～14日（日）	災害ボランティアセンターの活動支援	1人	石川県穴水町
	7月21日（日）～27日（土）		1人	石川県輪島市 門前支所

## オ 能登半島地震災害活動報告会の開催（地域福祉課）

栃木市災害ボランティア支援委員会構成団体、行政機関を対象に能登半島地震災害活動報告会を開催した。

開催日 令和6年10月3日（木）

場 所 栃木保健福祉センター

参加人数 19名（市役所2名、青年会議所1名、NPO法人ハイジ1名、  
本会職員15名）

## カ 栃木市災害ボランティアセンター資機材ネットワーク構築事業の開催（地域福祉課）

市民や民間企業等と連携協働し、活動資機材を確保し、被災者への支援を充実させるとともに、地域における災害ボランティア活動への理解促進と意識醸成を図ることを目的に、活動資機材提供ネットワークの活動事例、新規に導入した資機材（ポータブル電源）の活用方法等の研修会を開催した。

開催日 令和6年11月28日（木）

場 所 老人福祉センター福寿園

内 容 おやま防災・ストックヤードおやまの取り組み  
新規導入資機材の活用方法、取扱い方法

講 師 小山市社会福祉協議会 町田拓也 氏  
(株)ハマ商店 長濱賢治 氏

参加人数 11名（市役所 1名、青年会議所 4名、  
NPO法人ハイジ 1名、本会職員 5名）

### 3 学校や地域における福祉教育の推進

#### (1) 小・中学校福祉授業等への職員等の派遣や体験活動の受け入れ（地域福祉課、各支所）

市内小・中学校等からの福祉やボランティア活動に関する授業実施の相談や地域からの福祉講座実施の相談に応じ、職員やボランティアグループ等の講師派遣、体験活動の受け入れを行った。

#### ア 小中学校等への派遣（46件）

派遣日	派遣先学校名等	派遣の内容
令和6年 5月 9日（木）	寺尾小学校（4年）	みんなが暮らしやすい共に生きるまちってどんなまち？
5月 24日（金）	大平東小学校（4年）	高齢者疑似体験
5月 30日（木）	藤岡中学校（2年）	高齢者疑似体験、手話体験、点字体験、絵はがき作成
5月 31日（金）	大平東小学校（4年）	アイマスク体験
6月 10日（月）	栃木南小学校（4年）	ふくしとは、共同募金について
6月 11日（火）	大平東小学校（4年）	車椅子体験
6月 17日（月）	栃木南小学校（4年）	点字体験
6月 18日（火）	栃木南小学校（4年）	手話体験
6月 28日（金）	大平東小学校（4年）	点字体験
7月 1日（月）	岩舟小学校（4年）	手話体験、点字体験、バリアフリー、赤い羽根共同募金、盲導犬
7月 3日（水）	大平東小学校（4年）	盲導犬ユーザーさんのお話
7月 5日（金）	国府北小学校（5年）	車いす体験、点字体験
7月 10日（水）	小野寺小学校（6年）	地域のお宝講座
9月 12日（木）	赤麻小学校（4年）	点字体験、手話体験
9月 13日（金）	真名子小学校（4年）	車椅子体験
9月 19日（木）	千塚小学校（4年）	車いす体験
9月 19日（木）	大平中央小学校（4年）	手話体験
10月 15日（火）	栃木第四小学校（4年）	車いす体験
10月 15日（火）	小野寺小学校（4年）	手話体験、ろう者の生活（お話し）
10月 16日（水）	栃木第四小学校（4年）	ボッチャ体験
10月 18日（金）	小野寺小学校（6年）	認知症寸劇
10月 18日（金）	真名子小学校（4年）	高齢者との交流
10月 21日（月）	大平中央小学校（4年）	アイマスク体験
10月 28日（月）	大宮北小学校（4年）	盲導犬ユーザーさんのお話
10月 28日（月）	小野寺小学校（6年）	地域のお宝講座
10月 30日（水）	大平南小学校（4年）	車椅子体験
10月 30日（水）	家中小学校（4年）	車椅子移送車体験、アイマスク体験
10月 31日（木）	大宮北小学校（4年）	手話体験
10月 31日（木）	三鴨小学校（4年）	手話体験、点字体験
11月 6日（水）	赤麻小学校（4年）	車椅子体験、高齢者疑似体験

11月8日（金）	千塚小学校（4年）	シニアクラブとの交流
11月11日（月）	大平中央小学校（4年）	高齢者疑似体験
11月15日（金）	大平南小学校（4年）	アイマスク体験
11月18日（月）	部屋小学校（4年）	高齢者疑似体験
11月19日（火）	静和小学校（4年）	手話体験、ろう者の生活（お話し）
11月21日（木）	部屋小学校（4年）	点字体験
11月22日（金）	千塚小学校（4年）	手話体験
11月22日（金）	栃木第五小学校（4年）	盲導犬ユーザーさんのお話し
11月29日（金）	栃木第四小学校（4年）	点字体験
12月4日（水）	部屋小学校（4年）	車椅子体験
12月6日（金）	千塚小学校（4年）	点字体験
12月9日（月）	部屋小学校（4年）	手話体験、視覚障がい者体験
12月10日（火）	栃木第四小学校（4年）	手話体験
12月11日（水）	三鴨小学校（4年）	車椅子体験、視覚障がい者体験
12月20日（金）	栃木第四小学校（4年）	盲導犬ユーザーさんのお話し
令和7年 2月3日（月）	大平中学校福祉委員会	社協事業（福祉車両貸出、車椅子貸出事業）説明、福祉車両・車椅子の清掃

イ 学校以外への派遣（3件）

派遣日	派遣先	派遣の内容
令和6年 8月23日（金）	シルバー大学南校同窓会岩舟支部	能登半島地震災害支援に携わって（講話）
9月10日（火）	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会岩舟支部	能登支援から考える「共に生きる社会とは」（講話）
11月18日（月）	佐野短期大学	地域福祉と包括的支援体制（講話）

## (2) 児童、生徒のための福祉講座の開催（地域福祉課、各支所）

夏休みを利用して、福祉やボランティア活動に対する子どもたちの理解と関心を高めることを目的に、サマー ボランティアスクールを開催した。

会場	開催日	内容	参加人数	場所
中央 地域	令和6年 7月25日(木) 26日(金)	【1日目】 災害に関する講話とワークショップ、防災ゲーム等 【2日目】 防災学習、消火器体験、地震体験等	30人	【1日目】 栃木保健福祉センター 【2日目】 埼玉県防災学習センター、向井千秋記念子ども科学館
南部 地域	令和6年 7月24日(水) 25日(木)	【1日目】 防災学習、消火器体験、地震体験等 【2日目】 きれいな水を作ってみよう（瀧過水づくり）、非常食の試食体験、お家点検、非常持ち出し袋の作成、令和元年東日本台風と栃木市災害ボランティアセンターについての講話	1日目 35名 2日目 34名	【1日目】 埼玉県防災学習センター、向井千秋記念子ども科学館 【2日目】 CITY GYM & SPA 遊楽々館
北部 地域	令和6年 8月1日(木) 2日(金)	【1日目】 災害用ベッド作り、防災クイズ、AED体験などの救命講習 【2日目】 防災学習、消火器体験、地震体験等	23人	【1日目】 都賀南部コミュニティセンター 【2日目】 埼玉県防災学習センター、向井千秋子ども科学館

## (3) 蔵の街高校生ボランティアスクールの開催（地域福祉課）

市内の公共施設、社会福祉施設などでのボランティア活動を通じて、高校生の地域やまちづくりへの関心を高めることを目的に、栃木市・市民活動推進センターくららと共に蔵の街高校生ボランティアスクールを開催し、地区社協等の福祉事業やキッズホームとちぎでのボランティア活動の受け入れを行った。

開催日 令和6年7月31日(水)～8月6日(火)

内 容 TOCHI COリサイクル（子ども服リサイクル事業）

藤岡地区社協自由学校（小学生への学習支援やレクリエーション活動）

キッズホームとちぎ夏祭り

受入人数 18人

#### (4) 先生と一緒に考える福祉教育のあり方講座の開催（地域福祉課）

福祉教育の更なる充実を図るため、教職員の福祉に対する理解と関心を高めるとともに、市内教育機関の情報交換とネットワークづくりの機会として、先生と一緒に考える福祉教育のあり方講座を開催した。

開催日 令和6年5月27日（水）

内容 福祉教育を進める視点と求められる学びの構造について（講義）  
学校から家庭へ広がる福祉の学び（事例発表）  
すぎのこ会が取り組み福祉教育について（事例発表）

講師 四天王寺大学 准教授 吉田祐一郎 氏

発表者 大宮南小学校、社会福祉法人すぎのこ会

#### (5) 福祉教育推進事業の実施（地域福祉課、各支所）

ボランティア活動等の体験を通して、社会福祉への理解と関心を高め、社会参加や社会連携の精神を養うとともに、地域社会・学校・家庭が連携して、地域に密着した福祉教育の推進を図るため、市内小中学校及び高等学校等が実施する福祉教育等の活動経費に対する補助を行った。（幼保3園、小学校24校、中学校4校、高校4校）

#### (6) 福祉体験機器等の貸出（地域福祉課、各支所）

福祉教育を推進するため、学校や施設に対し、各種福祉体験機器等の貸し出しを行った。

（点字盤、高齢者疑似体験セット、車椅子、ボッチャの貸出 8件）

### 4 生活困窮者への支援及び成年後見事業の実施

#### (1) 生活困窮者に対する支援の推進

##### ア 生活困窮者自立支援事業の実施（地域福祉課）※受託

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却し、社会的・経済的に自立することを目的に、支援対象者の個々の状態に応じた包括的な相談支援事業を実施した。

##### （ア）支援調整会議の開催

本会とちぎ市くらしサポートセンターが作成する支援計画の内容の検証や関係機関及び関係者等の連絡調整並びに事後評価等の検証等を行うことを目的に、支援調整会議を、年12回開催した。

##### （イ）自立相談支援事業（必須事業）

新規相談受付件数 315件

プラン作成件数 49件

相談内容 自立相談支援、家計相談、学習支援、一時生活支援、  
住宅確保給付金

#### (ウ) 学習支援事業（任意事業）

生活困窮等の理由から学習環境に課題のある世帯の小・中学生を対象に、学校授業の補習、進学のための学習や進路相談などを実施した。

##### a 短期集中型学習サポート塾（小中学生対象。夏、冬休み期間）

###### ○夏休み期間

実施期間 令和6年8月1日（木）、2日（金）、5日（月）、  
7日（水）～9日（金）

場 所 栃木会場：栃木保健福祉センター  
大平会場：大平公民館

###### 参加人数（両会場）

小学5・6年生：登録者 4人、延べ参加人数 12人  
中学1・2年生：登録者 10人、延べ参加人数 28人  
中学 3年生：登録者 11人、延べ参加人数 20人  
計：登録者 25人、延べ参加人数 60人

###### ○冬休み期間

実施期間 令和6年12月26日（木）～28日（土）

場 所 栃木保健福祉センター

###### 参加人数

小学5・6年生：登録者 4人、延べ参加人数 5人  
中学1・2年生：登録者 4人、延べ参加人数 9人  
中学 3年生：登録者 16人、延べ参加人数 33人  
計：登録者 24人、延べ参加人数 47人

##### b 通所学習（中学生対象）

実施期間 令和6年6月1日（土）～令和7年3月1日（土）  
毎週土曜日（計37日）

場 所 栃木会場：栃木保健福祉センター  
大平会場：ふるさとふれあい館

###### 参加人数（両会場）

中学1・2年生：登録者 17人、延べ参加人数 230人  
中学 3年生：登録者 21人、延べ参加人数 370人  
計：登録者 38人、延べ参加人数 600人

##### c 通信学習（小中学生対象）

実施期間 令和6年6月1日（土）～令和7年3月1日（土）  
毎週土曜日（計37日）

参加人数 通信教育のみ：47人（小学生27人、中学生20人）  
通信学習と通所学習の併用：14人（中学生）

#### (エ) 学習支援事業参加者や卒業生への社会参加支援

学習支援事業参加者と卒業生に対し、地域イベント等でのボランティア募集を周知し、ボランティア活動に参加することで、社会参加を図った。

卒業生のボランティア登録者数 4人

延べ参加人数 5人

参加内容 地域イベント当日の運営ボランティア

#### (オ) 家計改善支援事業の実施（任意事業）

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計状況を明瞭化した上で、生活再生に向けた意欲を引き出し、家計の視点から必要な情報提供や専門的助言・支援等を行うことにより家計を管理する力を高め、早期に生活を再生することを目的に、家計相談支援事業を実施した。

プラン作成人数 27件

延べ相談件数 373件

#### (カ) 就労準備支援事業の実施（任意事業）

被保護者又は経済的困窮の状態にある者であって、一般就労が困難な者に対し、生活習慣の形成のための指導・訓練、就労の前段階として必要な社会的能力の習得及び就労体験や、一般就労のための就職活動の技法や知識の取得支援などを実施し、基礎能力を身につけることで安定的な就労に就き、経済的困窮状態から脱却を図ることを目的に、就労準備支援事業を実施した。

プラン作成件数 2件

活動回数 21回

#### (キ) 栃木市フードバンク事業の実施

食品ロス削減と地域福祉の増進に資するため、安全に食べることができるにもかかわらず廃棄されてしまう食品及び市場に流通できない食品を個人、法人及び団体から無償で受け入れ、食糧支援が必要な者、各支援団体や福祉施設等に対し、包括的な相談支援を実施する中で、栃木市フードバンク事業を実施した。

食品受け入れ件数 276件

日用品等受入れ件数 32件

#### (ク) 事業啓発等の実施

地域課題の共有及び担い手の育成を図ることを目的に、イベント等に参加し、市内子育て団体及び地域住民等に対して、生活困窮者自立支援事業啓発のための周知活動等を実施した。

実施回数 3回

(ケ) くらしサポート事業（旧事業名：緊急一時食糧支援事業）の実施

貸付相談等において、生命の維持や自立に向かうために一時的な食糧支援が必要と判断される方に対し、米や缶詰等の食糧を支給した。また、米の配付を必要とする学習支援事業参加者の世帯に対し、米の配布した。

支援件数 623件

支援物品 米、缶詰、乾麺、レトルト食品、アルファ米等

イ 各種資金の貸し付け・相談（地域福祉課、各支所）

(ア) 生活福祉資金の貸付※受託

栃木県社会福祉協議会が低所得者、障がい者、高齢者に対し、各種資金の貸し付けを行う生活福祉資金の窓口として、民生委員児童委員と連携し、申請に必要な支援等を行った。

【新規貸付実績】

資金の種類	件数	金額
教育支援資金（就学支度費）	1件	200,000円
教育支援資金（教育支援費）	1件	1,548,000円

(イ) 緊急小口資金等の特例貸付の借受人へのフォローアップ支援

新型コロナウイルス感染症の影響による緊急的な生活資金の貸付として令和2年4月から令和4年9月に実施された緊急小口資金等の特例貸付を受けた借受人に対し、償還に関する相談対応等、以下のフォローアップ支援を開始した。

a 償還免除を行った借受人へのフォローアップ支援

- ・訪問、架電等による生活状況の把握
- ・自立相談支援機関の支援を希望する場合、自立相談機関への借受人に関する情報の提供

b 償還免除申請に未応答の借受人へのフォローアップ支援

- ・訪問、架電等による償還免除申請の勧奨や申請書の作成支援
- ・借受人の生活状況を踏まえた償還猶予や少額返済の案内

c 償還免除に至らないものの償還が困難な借受人へのフォローアップ支援

- ・借受人の生活状況を踏まえた償還猶予や少額返済の案内
- ・償還猶予、償還計画変更、少額返済の受付及び意見書の作成
- ・訪問、架電等による生活状況の把握
- ・自立相談支援機関との連携による生活再建に向けた支援
- ・償還猶予期間中の借受人への支援

#### d その他

##### ・相談希望の確認アンケートの実施

実施時期及び対象者

令和6年5月 償還免除になった借受人

令和6年8月 令和7年1月に最終償還期限を迎える緊急小口資金  
借受人

令和7年2月 令和7年1月に償還が開始となった再貸付借受人

借受人総世帯数 2,093世帯

アンケート送付数 1,933世帯

(5月実施：436世帯、8月実施：929世帯、2月実施：568世帯)

返信世帯数 130世帯 (6.7%)

(5月実施：58世帯、8月実施：31世帯、2月実施：41世帯)

無反応世帯数 1,245世帯 (64.4%)

(5月実施：351世帯、8月実施：514世帯、2月実施：380世帯)

住所不明世帯数 558世帯 (28.9%)

(5月実施：27世帯、8月実施：384世帯、2月実施：147世帯)

##### ・アンケート無反応世帯への訪問の実施

対 象 令和7年1月に最終償還期限を迎える緊急小口資金借受  
人 (1回以上返済している借受人)

実施時期 10月～11月

訪問件数 260件

訪問結果 在宅(面談) 12件 (4.6%)

不在表札あり 50件 (19.2%)

不在表札なし 133件 (51.2%)

転居等所在不明 65件 (25%)

##### ・令和6年度償還免除者・償還猶予者の状況

貸付種類	償還免除者	償還猶予者
緊急小口資金特例貸付	11件	53件
総合支援資金特例貸付	27件	66件
総合支援資金(延長)特例貸付	14件	26件
総合支援資金(再貸付)特例貸付	102件	27件

#### (ウ) 社会福祉金庫の貸付

生活保護が開始されるまでの間の生計の維持が困難な世帯、生活保護世帯で、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難になった世帯に対し、生活一時金の貸し付けを行い、生活安定の支援を図った。

令和6年度貸付金 59件 1,500,000円

令和6年度償還金 63件 1,492,000円

(償還金内訳) ※分割償還含むため償還件数が超過する。

過年度貸付分 7件 92,000円

令和6年度貸付分 56件 1,400,000円

#### (エ) 高額療養費の貸付

高額療養費を貸し付けることにより、療養者世帯の生活安定の助長を図った。

令和6年度貸付金 19件 4,081,000円

令和6年度償還金 23件 4,881,000円

(償還金内訳)

過年度貸付分 14件 2,895,000円

令和6年度貸付分 9件 1,986,000円

### (2) 権利擁護事業などの推進

#### ア 法人後見事業の実施（地域福祉課）

親族や専門職による後見人が得られにくい方に対し、家庭裁判所の審判を経て、本会が法人として成年後見人等を受任した。

受任件数10件（うち新規1件）

(類型内訳)

後見 9件（高齢者7件、知的障がい者1件、精神障がい者1件）

保佐 0件

監督人 1件（知的障がい者1件）

#### （ア）法人後見運営委員会の開催

法人後見業務の適正な実施を担保するため、法人後見受任の適否の判断や後見業務への指導を行う法人後見運営委員会（学識経験者や行政職員で構成）を年3回開催した。

#### （イ）法人後見ケース検討会議の開催

適正な後見業務を行うため、学識経験者、地域包括支援センター、障がい児者相談支援センター、あすてらす・とちぎ等の関係機関担当者とのケース検討会議を年6回開催し、法人後見受任の適否、後見業務の検討した。

## イ 権利擁護・成年後見支援センター事業の実施（地域福祉課）※受託

### （ア）成年後見制度に関する相談・利用支援

認知症の高齢者や障がい等で、判断能力が十分でない方の権利を擁護するとともに、成年後見制度の利用促進を図ることで、誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことを目的に、相談窓口を設置し、助言、情報提供した。

相談人数 126人

相談延べ件数 186件

#### 【相談内訳】

相談事項	件数	相談事項	件数	相談事項	件数
法定後見関係	63件	任意後見関係	4件	法人後見関係	15件
申立て相談等	1件	あすてらす関係	13件	相続・遺言・終活	12件
親族後見等相談	0件	専門職への相談	35件	その他	43件

### （イ）司法書士専門相談

法律問題に関する市民の相談に対し、専門家である司法書士が助言した。

実施日 毎月第2火曜日 午前9時30分～午前11時30分

場所 栃木保健福祉センター

相談人数 35人

相談延べ件数 35件

#### 【相談内訳】

相談事項	件数	相談事項	件数	相談事項	件数
成年後見制度	3件	多重債務	1件	売買	0件
贈与	3件	相続	25件	財産分与	0件
遺言	1件	その他	2件	借地借家	0件

### （ウ）成年後見制度に関する広報及び啓発

#### a 成年後見制度・市民後見人啓発事業

開催日 令和6年10月27日（日）

場所 ゆったりーな（北部健康福祉センター）

内容 笑って学ぶ成年後見制度

【第1部】漫才「何が起きたんだ！？家のまわりが水浸し」

漫才師 青空一風・千風氏

※青空一風氏は足立区の市民後見人

【第2部】対談

登壇者 青空一風氏

成年後見サポートセンター

参加人数 70人

### b 出前講座の開催

成年後見制度の普及啓発を図るため、地域住民や関係機関に対し、出前講座を開催した。

開催日	内 容	依頼団体等	参加人数
令和6年 6月 5日(水)	日常生活自立支援事業「あすてらす」について	大平地域包括支援センター	40人
6月 26日(水)	成年後見制度について	丸光ケアサービス(株)	16人
7月 26日(金)	セカンドライフのすすめ (終活セミナー)	西方町介護者の会	18人
8月 28日(水)	老後も安心、終活準備!! 成年後見制度・終活・エンディングノートの活用	老人福祉センター福寿園	18人
9月 20日(金)	成年後見制度をテーマとした事例検討	ちーむわがまる (岩舟地域包括支援センター)	13人
9月 26日(木)	成年後見制度について	栃木市相談支援ネットワーク	30人
11月 16日(土)	成年後見制度について	箱西はつらつクラブ	30人
12月 10日(火)	成年後見制度について	精神障害者家族会(県栃木健康福祉センター)	22人
12月 11日(水)	成年後見制度及び事例	大平地区西地区民生委員児童委員協議会	22人
令和7年 3月 18日(火)	法人後見と市民後見人	小山市社会福祉協議会	25人

### (エ) 成年後見推進委員会の開催（地域福祉課）

成年後見制度の利用の促進に関する法律及び成年後見制度利用促進基本計画に基づき、栃木市における市民後見人制度を含む成年後見制度の推進等について必要な事項を検討するため、栃木市成年後見推進委員会を年4回開催した。

開催日	内 容
令和6年 6月 7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副委員長の選任について</li> <li>・第2期栃木市成年後見制度利用促進計画に係る実現に向けた取り組みと今後の指標について</li> <li>・第2期栃木市成年後見制度利用促進計画の策定について</li> <li>・令和6年度成年後見制度・市民後見人啓発事業について</li> <li>・市民後見人養成講座フォローアップ実務編について</li> <li>・市民後見人の報酬付与及び実費弁償について</li> <li>・市民後見人活動希望者名簿登録について</li> </ul>
9月 6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民後見人活動マニュアルについて</li> <li>・第2期栃木市成年後見制度利用促進計画の策定について</li> </ul>
12月 6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期栃木市成年後見制度利用促進計画の策定について</li> </ul>
令和7年 3月 7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期栃木市成年後見制度利用促進計画の策定について</li> </ul>

### (オ) 市民後見人養成講座フォローアップ研修「実務編」の開催

市民後見人養成講座フォローアップ研修修了者に対する成年後見制度の習得向上を目的に、市民後見人養成講座フォローアップ研修「実務編」を栃木保健福祉センターにて4回開催し、研修終了後、希望者（15名）に対して後見業務同行実習を実施した。

開催日	内 容	受講人数
令和6年 9月 30日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの役割 講師 成年後見サポートセンター</li> <li>・公証人役場の役割 講師 小山公証役場 松尾泰三 氏</li> <li>・意思決定支援 講師 栃木県社会福祉士会 栃木憩子氏</li> </ul>	23人
10月 7日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見の実務 講師 宇都宮家庭裁判所栃木支部 田波俊裕 氏</li> <li>司法書士 本間美帆 氏</li> </ul>	21人
10月 21日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見の実務 講師 司法書士 本間美帆 氏</li> </ul>	18人
10月 28日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題演習 講師 栃木県社会福祉士会 栃木憩子 氏</li> </ul>	16人

#### (カ) 市民後見人の監督

市民後見人と3ヵ月に一回面談を行い、毎月の後見活動状況・収支状況の把握・確認を行い、後見活動等の相談に応じ、助言を行った。また、市民後見人として、宇都宮家庭裁判所へ1年間の定期報告を行った。

#### ウ 日常生活自立支援事業（あすてらすとちぎ）の実施（地域福祉課）※受託

市内の認知症高齢者、知的障がい者等、判断能力が十分でない方や日常生活に不安を感じている方の生活をサポートするため、専門員2人、生活支援員23人を配置し、各種の相談に応じるとともに、福祉サービス利用援助や金銭管理サービス等の支援サービスを実施した。

相談件数 1, 244件

訪問調査回数 413回

支援回数 693回

実利用人数 54人（うち新規7人、年度中終了9人）

（内訳）

高齢者16人、精神障がい者18人、知的障がい者18人、  
身体障がい者2人

### 5 介護保険事業及び障がい福祉サービス事業等の実施

#### （1）栃木市在宅介護サービス事業所連絡会の開催・運営（福祉サービス課）

栃木市における介護保険事業等の活性化と福祉サービスの一層の充実を図るために設立された栃木市在宅介護サービス事業所連絡会の事務局を担い、市内介護保険事業所の資質向上を図ることを目的に、会員への連絡調整やメールを活用した情報発信、交流や研修会の企画・立案を行った。

#### ア 栃木市在宅介護サービス事業所連絡会研修会の開催

開催日 令和7年2月21日（金）

場 所 栃木保健福祉センター

内 容 「高齢者虐待はなぜ起こるのか・・・」

「栃木市の認知症カフェとチームオレンジの活動  
について」

「現場で活かすB C P」

講 師 栃木市高齢介護課長 寺内 均 氏

栃木中央地域包括支援センター 田名網明子 氏

One—or—Eight 合同会社 代表・一般社団法人全国介護事業  
者連盟栃木県支部長 中村 洋文 氏

参加人数 33人

## (2) 栃木市事業所交流・学習会(丸ごと障介サロン)の開催(福祉サービス課)

栃木市の福祉力の向上と地域共生社会の実現を目指すため、福祉関係者の連携強化を目的に、地域の障がい者や要介護者等の日常生活を支える介護保険事業所と障がい福祉サービス等事業所間の情報共有と相互理解を図る場として、栃木市事業所交流・学習会(丸ごと障介サロン)全3回を栃木保健福祉センターで開催した。

開催日	内 容	講 師	参加人数
令和6年 6月12日(水)	災害の時、こんな避難所は困る! ～専門職の立場からよりよい避難所を考えよう～	地域福祉課 地域福祉係	13人
10月16日(水)	社会的に生きづらい人の支援、はじめました! ～ちよこっとジョブ・ちよこっとボランティア～		15人
令和7年 2月20日(木)	あなたも今日から“つながりワーカー”!		12人

## (3) 介護保険事業の実施

### ア 介護保険事業職員研修会の開催(福祉サービス課)

より良いサービスを提供し、事業所への信頼や価値を高めるため、介護保険事業職員を対象とした研修会を開催した。(障がい福祉サービス事業職員研修会と合同開催)

開催日	研修内容	参加人数
令和6年 6月 7日(金) 21日(金)	腰痛予防対策 「腰痛予防体操」について	49人

※参加者には障がい福祉サービス事業従事職員を含む。

### イ 居宅介護支援事業の実施(大平支所)

介護保険法に基づく居宅介護支援及び介護予防支援業務(ケアプラン作成等)を1事業所(栃木市社協ケアプランセンター)で実施した。

実利用人数 403人

延べ作成件数 3,623件

月平均作成件数 301.9件

## ウ 訪問介護（ホームヘルプサービス）事業の実施（福祉サービス課、大平支所）

### （ア）訪問介護

介護保険法に基づいて、要介護状態の方の居宅における入浴、排泄、食事介助等の身体介護、調理、洗濯、買物等の生活援助を行う訪問介護事業を2事業所で実施した。

		北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合計
実利用者人数		82人	100人	182人
身体 介護	派遣回数	1, 574回	3, 721回	5, 295回
	派遣時間	852時間20分	2, 282時間20分	3, 134時間40分
生活 援助	派遣回数	4, 333回	6, 369回	10, 702回
	派遣時間	4, 320時間5分	6, 031時間15分	10, 352時間10分
身体 生活	派遣回数	1, 185回	1, 401回	2, 586回
	派遣時間	1, 288時間40分	1, 680時間40分	2, 969時間20分

### （イ）訪問介護相当サービス

要支援と認定されている方の入浴、排泄、食事介助等の身体介護、調理、洗濯、買物等の生活援助を行う訪問介護相当サービス事業を2事業所で実施した。

		北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合計
実利用人数		24人	23人	47人
派遣回数		1, 082回	1, 459回	2, 541回
派遣時間		1, 081時間30分	1, 422時間	2, 503時間30分

### （ウ）緩和した基準による訪問型サービス

栃木市総合事業の事業対象者と特定されている方の調理、洗濯、買物等の生活援助を行う緩和した基準による訪問型サービスを2事業所で実施した。

		北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合計
実利用人数		31人	17人	48人
派遣回数		974回	558回	1, 532回
派遣時間		730時間30分	418時間30分	1, 149時間

## エ 通所介護事業の実施（福祉サービス課、大平支所）

介護保険法に基づいて、入浴サービスや食事の提供、日常動作訓練、その他必要な介助等を行う通所介護事業及び通所型サービス（総合事業）を2事業所で実施した。

	デイサービス福寿園	大平高齢者デイサービスセンターまゆみ
営業日	月～土 (1月1日～3日除く)	月～土 (祝日・12月29日～1月3日除く)
実利用人数	45人	75人
営業日数	307日	293日
延べ利用人数	4,291人	6,074人
1日平均利用人数	14人	20.7人

(4) 要介護認定調査事業（指定市町村事務受託法人）の実施（福祉サービス課）

指定市町村事務受託法人の指定を受け、要介護認定調査業務を実施した。専任の調査員2名を配置し、社協ケアプランセンターが協力して業務を行った。

栃木市認定調査委託 1,380件

(5) 障害者総合支援事業等

ア 障がい福祉サービス事業職員研修会の開催（福祉サービス課）

より良いサービスを提供し、事業所への信頼や価値を高めるため、障がい福祉サービス事業職員を対象とした研修会を開催した。（介護保険事業職員研修会と合同開催）

開催日	研修内容	参加人数
令和6年 6月 7日（金） 21日（金）	腰痛予防対策 「腰痛予防体操」について	49人

※参加者には介護保険事業従事職員を含む。

イ 相談支援事業（特定相談支援事業・障害児相談支援事業）の実施（福祉サービス課）

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づいて、サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成等を、1事業所（相談支援事業所 社協とちぎ）で実施した。

	特定相談支援事業	障害児相談支援事業
実利用人数	45人	92人
延べ作成件数	141件	220件

ウ 障がい者居宅介護（ホームヘルプサービス）事業の実施（福祉サービス課、大平支所）

障害者総合支援法に基づいて、障がい者の居宅における入浴、排泄、食事介助等の身体介護、調理、洗濯、買物等の家事援助、通院時の介護や視力障がい者の同行援護を行う障がい者居宅介護事業を2事業所で実施した。

		北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合 計
実利用人数		31人	14人	45人
身体 介護	派遣回数	551回	31回	582回
	派遣時間	352時間	25時間30分	377時間30分
家事 援助	派遣回数	2, 311回	1, 380回	3, 691回
	派遣時間	2, 387時間10分	1, 594時間	3, 981時間10分
通院 介護	派遣回数	0回	17回	17回
	派遣時間	0分	52時間	52時間
同行 援護	派遣回数	295回	0回	295回
	派遣時間	372時間55分	0時間	372時間55分

エ 就労継続支援B型事業の実施（都賀支所）

障害者総合支援法に基づいて、障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、知識及び能力の向上を図ることを目的に、就労の機会の提供や生産活動等を行う就労継続支援B型事業を1事業所（就労継続支援センターいちごの郷）で実施した。

実利用人数	14人
営業日数	243日
延べ利用人数	1, 857人
1日平均利用人数	7.6人
主な生産活動	折り紙の加工・梱包、古着リサイクル、アルミ缶・段ボール回収
販売・PR・交流活動	リサイクル販売・オレンジカフェ・ホームページ・ふくびーだより・公園清掃・障がい者スポーツ大会・都賀の里ハスまつり・そば打ち体験・野外訓練（都賀地活・藤岡地活合同）
主な行事	調理実習（カレー）、お楽しみ会（七夕、クリスマス会）、避難訓練、水害時対応訓練、買い物訓練、花見、都賀地域のクリーン活動・自立訓練・宿泊訓練

#### オ 児童発達支援事業の実施（福祉サービス課）

児童福祉法に基づいて、日常生活における基本的動作や知識技能の習得、集団生活への適応を図ることを目的に、障がいを持った未就学児童の心身の状況や環境に応じた指導、訓練を行う児童発達支援事業を1事業所（キッズホームとちぎ）で実施した。

実利用人数 18人

営業日数 243日

延べ利用人数 1,193人

1日平均利用人数 4.9人

また、保護者が日常生活で子どもと適切にかかわることで、子どもの行動改善や発達促進が期待でき、養育スキルを学ぶことを目的としたペアレント・トレーニングを実施した。

実施日数 10日

実参加人数 4人

延べ参加人数 34人

### 6 組織の基盤強化

#### （1）理事会及び評議員会等の開催（法人運営課）

##### ア 理事会

第 1 回	開催日	令和6年6月10日（月）
	場 所	栃木保健福祉センター
	議 事	会長の専決処分事項の承認（令和5年度資金収支補正予算（第5号））について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会定款の一部変更について、令和5年度事業報告の承認について、令和5年度決算の承認について、令和6年度定時評議員会の開催について、評議員選任候補者の推薦について、評議員選任・解任委員会の開催について
第 2 回	開催日	令和6年6月27日（木）
	場 所	栃木保健福祉センター
	議 事	会長及び常務理事の選定について
第 3 回	開催日	令和6年10月15日（火）
	場 所	栃木保健福祉センター
	議 事	会長及び常務理事の職務執行状況について、課長等の任免について、会長の専決処分事項の承認（令和6年度資金収支補正予算（第1号））について、令和6年度資金収支補正予算（第2号）について、令和6年度第2回評議員会の開催について、評議員選任候補者の推薦について、評議員選任・解任委員会の開催について

	開催日	令和 6 年 1 2 月 9 日 (月)
	場 所	栃木保健福祉センター
第 4 回	議 事	令和 6 年度資金収支補正予算（第 3 号）について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会指定児童発達支援事業所キッズホームとちぎ運営規程の廃止について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会就労継続支援センターいちごの郷運営規程の廃止について、令和 6 年度第 3 回評議員会の開催について
	開催日	令和 7 年 3 月 1 2 日 (水)
	場 所	栃木保健福祉センター
第 5 回	議 事	会長及び常務理事の職務執行状況について、会長の専決処分事項の承認（令和 6 年度資金収支補正予算（第 4 号））について、令和 6 年度資金収支補正予算（第 5 号）について、令和 7 年度事業計画（案）について、令和 7 年度資金収支予算（案）について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会定款（事務所の所在地）の一部変更について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会定款（事業）の一部変更について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会就業規程の一部改正について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会育児・介護休業等規程の一部改正について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会経理規程の一部改正について、訪問介護等事業所の統合について、特定相談・障害児相談支援事業の廃止について、令和 7 年度第 4 回評議員会の開催について、事務局次長等の任命について

#### イ 評議員会

	開催日	令和 6 年 6 月 2 7 日 (木)
	場 所	栃木保健福祉センター
定 時	議 事	会長の専決処分事項の承認（令和 5 年度資金収支補正予算（第 5 号））について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会定款の一部変更について、令和 5 年度事業報告の承認について、令和 5 年度決算の承認について、理事の選任について
	開催日	令和 6 年 1 0 月 2 5 日 (金)
	場 所	栃木保健福祉センター
第 2 回	議 事	会長の専決処分事項の承認（令和 6 年度資金収支補正予算（第 1 号））について、令和 6 年度資金収支補正予算（第 2 号）について

第 3 回	開催日	令和 6 年 1 2 月 2 0 日 (金)
	場 所	栃木保健福祉センター
	議 事	令和 6 年度資金収支補正予算（第 3 号）について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会指定児童発達支援事業所キッズホームとちぎ運営規程の廃止について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会就労継続支援センターいちごの郷運営規程の廃止について
第 4 回	開催日	令和 7 年 3 月 2 1 日 (金)
	場 所	栃木保健福祉センター
	議 事	会長の専決処分事項の承認（補正予算（第 4 号））について、令和 6 年度資金収支補正予算（第 5 号）について、令和 7 年度事業計画（案）について、令和 7 年度資金収支予算（案）について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会定款（事務所の所在地）の一部変更について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会定款（事業）の一部変更について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会就業規程の一部改正について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会育児・介護休業等規程の一部改正について

#### ウ 監査

開催日 令和 6 年 5 月 2 3 日 (木)  
 場 所 栃木保健福祉センター  
 内 容 令和 5 年度事業報告、収支決算について

#### エ 評議員選任・解任委員会

開催日 令和 6 年 6 月 1 4 日 (金)  
 場 所 栃木保健福祉センター  
 内 容 評議員の選任について  
 開催日 令和 6 年 1 0 月 2 3 日 (水)  
 場 所 栃木保健福祉センター  
 内 容 評議員の選任について

#### オ 事務局会議

開催日 原則毎月第 3 月曜日（年 1 2 回 うち、拡大事務局会議 2 回）  
 場 所 栃木保健福祉センター

#### カ 経営改善プロジェクトチーム会議等

経営改善を図るため、課長以上の管理職に一部係長を加えた職員で構成されるプロジェクトチームを設置し、月に 1 回会議を行った。またプロジェクトチームの下部組織として、全正職員を対象にしたワーキンググループ（組織強化・財務強化・事業強化の 3 部会）を置き、部会ごとに定期的に会議を行った。さらに、経営安定化計画推進の迅速化及び本会の運営上重要な案件で緊急性を要するものの早期着手解決を目的とした重点テーマ別検討部会を開催し、懸案の事業等の方向性を協議検討することで共通認識を図った。

## キ 係長会議

各部署の係長による定期的な会議を行い、情報共有や協議事項を検討することで各部署間の連携を図った。

開催日 原則毎月第4金曜日（年8回）

場 所 栃木保健福祉センター

## （2）社協会員の募集（法人運営課、各支所）

住民参加の促進と地域福祉の充実のため実施している「社協会員制度」について、自治会や地区社会福祉協議会の協力を得て、次のような実績を上げた。

（普通会費1口500円、特別会費1口3,000円）

### ア 普通会費

△	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合 計
加入件数	16,093件	8,204件	4,233件	3,159件	1,430件	4,711件	37,830件
加入口数	16,093口	8,204口	4,233口	3,159口	1,503口	4,711口	37,903口
金額	8,046,930円	4,102,000円	2,116,500円	1,579,500円	752,350円	2,355,700円	18,952,980円

### イ 特別会費

△	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合 計
加入件数	1,085件	46件	48件	59件	53件	89件	1,380件
加入口数	1,206口	67口	57口	87口	64口	107口	1,588口
金額	3,627,000円	201,000円	172,000円	266,000円	194,000円	330,000円	4,790,000円

## （3）寄附金の受け付け（法人運営課）

本会運営資金の確保や住民参加による地域福祉の推進を図ることを目的に、各種寄附金を受け付けた。また、福祉基金の利息を地域福祉事業に活用した。

区分	件 数	金 額
福祉基金	84件	2,026,535円
マイクロバス	33件	200,000円
生活困窮	22件	582,504円
一般物品	23件	—
生活困窮物品	224件	—
計	386件	2,809,039円

## （4）経営安定化計画評価委員会の開催（法人運営課）

経営安定化計画に掲げる取り組みの進行状況を評価し、円滑な計画推進を図っていくため、経営安定化計画評価委員会を開催した。

開催日 令和6年8月22日（木）

場 所 栃木保健福祉センター

## (5) 専門性の高い課題への対応強化（各課・各支所）

職員の資質向上を図るため、栃木県や栃木県社会福祉協議会、栃木市などの外部の機関が実施する研修会や講習会に職員が参加した。

## (6) 市施設の指定管理

### ア 老人福祉センターの管理運営（福祉サービス課）

地域の高齢者に明るく健康的な日々を過ごしていただけたよう、福祉・介護相談や各種講座の開催、レクリエーションの場の提供など、高齢者の健康増進や教養の向上を図ることを目的に、指定管理者として2か所の老人福祉センターの管理・運営を行った。

また、職員の資質向上のため、長寿園、福寿園合同で普通救命講習会を開催した。

#### 【利用状況】

	長寿園	福寿園
開園日数	296日	296日
延べ利用人数	28, 394人	14, 261人

#### 【延べ利用人数の内訳】

	長寿園	福寿園
当日券利用 60歳以上	6, 193人	2, 608人
一 般	406人	112人
市外居住者	63人	23人
回数券利用 60歳以上	13, 367人	4, 358人
一 般	311人	159人
市外居住者	115人	0人
減 免 者	2, 979人	4, 466人
障がい者等	4, 681人	1, 889人
小学生以下	168人	201人
団 体	0人	442人
どまんなか協定該当者	111人	3人

無料開放日利用者（県民の日、敬老の日等）	236人	320人
----------------------	------	------

【主な事業】

		長寿園	福寿園
マッサージ	実施日数	296日 ※フットマッサージ	296日
	延べ利用人数	4,976人	2,580人
ヘルストロ ン	実施日数	東日本台風による水没のため撤去	296日
	延べ利用人数	一	3,820人
健康・介護 相談	実施日数	随時	随時
	延べ利用人数	33人	69人
地域の包括的な 相談支援（継続）	実施日数	随時	随時
	延べ利用人数	1人	0人

【長寿園】

事業名	内 容	回数	延べ利用人数
自律神経を整える運動	体操及びストレッチ	24回	500人
こつこつ楽しく貯筋体操	転倒予防体操	22回	438人
運動+脳トレ体操教室	運動しながら脳トレーニング	22回	461人
ヨガ教室	ヨガ体操	22回	415人
はじめての英会話	英会話教室	22回	198人
楽しく踊ろう会	ダンス	6回	248人
世代間交流事業（そのべ児童館との交流）	運動会、ビクス	2回	8人
小物・折紙教室	折紙、くす玉作り等	9回	90人
新春福引き	来場者に福引き（1月4日）	1回	100人
栃木女子高等学校 JRC 部による SOS 防災発表会	災害時対応訓練	1回	35人

【福寿園】

事業名	内 容	回 数	延べ利用人数
ロコモティブシンドローム予防運動教室	加齢に伴って起こる運動機能低下を予防するため、筋力アップを行う。	10回	154人
シナプソロジー講習会	「二つのことを同時に行う」「左右で違う動きをする」といった、普段慣れない動きで脳に高度な刺激を与え脳の活性化を図る。	10回	94人
雅楽演奏会	日本古典音楽の演奏会	1回	20人
フレイル予防教室	身体をほぐしたり、整えたり、鍛える運動を行う。	10回	107人
スマホ教室	スマホの使い方を学ぶ（ライン、カメラ、インターネット、情報の整理）	5回	69人
老後も安心終活準備！	成年後見制度の理解やエンディングノートの活用方法	1回	22人
熱中症予防かるた	かるたを利用して熱中症を学ぶ	1回	50人
赤ちゃんハイハイレース	多世代間交流	1回	7組
尿もれ、自宅に潜む危険な場所	尿もれ予防のための運動の紹介や自宅に潜む危険な墓所の紹介	1回	10人
いつまでも元気に若々しく筋力アップ！	ヨガマットや椅子を使い筋力アップトレーニングを学ぶ	3回	61人
新春福引き	来場者に飴を配布（1月5日）	1回	41人
お笑いまりもちゃんショー	高齢者笑いと歌で楽しむ	1回	122人
ハッピーオレンジ DAY	認知症を理解するためのイベント	2回	289人

※認知症の方とその家族、地域住民等、誰でも自由に参加できる集いの場おれんじ喫茶ふくじゅを開設した。

※看護師の健康相談も併せて実施し、利用者からの健康不安や血圧の相談を対応した。

イ 栃木市そのべ児童館の管理運営（福祉サービス課）

児童に健全な遊びの場を提供し、健康増進や情操豊かな心を育むことを目的に、各種事業の計画的な実施や利用促進のためのPR活動に努めるなど、指定管理者としてそのべ児童館の管理・運営を行った。

【利用状況】

開館日数	299日		
利用人数	9, 181人		
内訳			
幼児	3, 735人	大人（保護者）	3, 510人
小学生（1年生～3年生）	503人	団体	子ども 0人
小学生（4年生～6年生）	821人	大人	0人
中学生以上	612人		

【主な事業内容】

事業名	参加人数	事業名	参加人数
ぺたぺたひろば（12回）	222人	ビンゴ大会	75人
きねんび☆photo（12回）	139人	親子ふれあい遊び	18人
親子ビクス（10回）	260人	子育てハッピーアドバイス	29人
親子で愉快に笑いヨガ（2回）	24人	初めてのお化け屋敷	24人
おひさまクラブ（11回）	223人	みんなで作るクリスマス	171人
おはなしの玉手箱（12回）	126人	新春福引き	57人
フルートミニコンサート	26人	その他の事業	1,570人
		合計	2,964人

ウ 栃木市栃木第六地区コミュニティセンターの管理運営（福祉サービス課）

市民の自主的で個性的なコミュニティ活動の推進を図るため、指定管理者として施設の管理・運営を行った。

開館日 360日

延べ利用団体数 1,082団体

延べ利用人数 10,234人

エ 地域活動支援センターの管理運営（藤岡支所、都賀支所）

障がい者に対する創作的活動や生産的活動の機会の提供、日常生活に必要な社会性の訓練、社会との交流促進事業など、障がい者の自立した生活を支援することを目的に、指定管理者として2か所の地域活動支援センターの管理・運営を行った。

	藤岡地域活動支援センター	都賀地域活動支援センター
実利用人数	13人	4人
開館日数	243日	243日
延べ利用人数	1,116人	194人
1日平均	4.6人	0.8人
主な行事等	農業体験（ふれあい農園事業）、そば打ち体験、かき氷・珈琲出店、都賀地域活動支援センター合同事業、作品展、高齢者サロン訪問、藤岡ふくしまつり出店、調理実習、買物訓練、創作活動、謝恩会、機能回復訓練、広報活動用グッズ作り、外出訓練、障がい施設見学会、花見、ウォーキング大会、クリスマス会、ひな祭り、お楽しみ会、防犯講座、防災講座、グリーンカーテン制作、内職作業	買物訓練、花見、調理実習（年5回）、クリスマス会、避難訓練（1回）、水害時対応訓練、外食訓練、七夕、節分、クリーン活動（2回）、園芸体験（グリーンカーテン制作・野菜花作り）、雑巾作り、2施設（就労継続支援センターいちごの郷・都賀地活）交流（自立訓練）、ラジオ体操、ウォーキング体操、そば打ち体験、野外訓練（就労継続支援センターいちごの郷・都賀地活・藤岡地活合同）、創作活動・健康チェック講習

#### 才 大平地域福祉センター（ふるさとふれあい館）管理運営（大平支所）

指定管理者として、施設の管理・運営を行った。

利用団体 81団体

利用回数 1,734回

延べ利用人数 15,326人

#### 7 共同募金への協力

自治会等の協力を得て、次のような実績を上げた。

##### (1) 赤い羽根共同募金（法人運営課、各支所）

目標額 14,802,000円

実績額 15,121,807円

##### 【募金内訳】

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合計
自治会	5,367,731円	2,453,900円	1,300,200円	950,500円	529,950円	1,438,622円	12,040,903円
法人募金	801,703円	293,500円	251,000円	199,550円	64,000円	402,507円	2,012,260円
学校	195,786円	58,846円	40,324円	47,273円	21,812円	31,622円	395,663円
その他	262,684円	91,335円	9,668円	62,604円	89,816円	156,874円	672,981円
合計	6,627,904円	2,897,581円	1,601,192円	1,259,927円	705,578円	2,029,625円	15,121,807円